

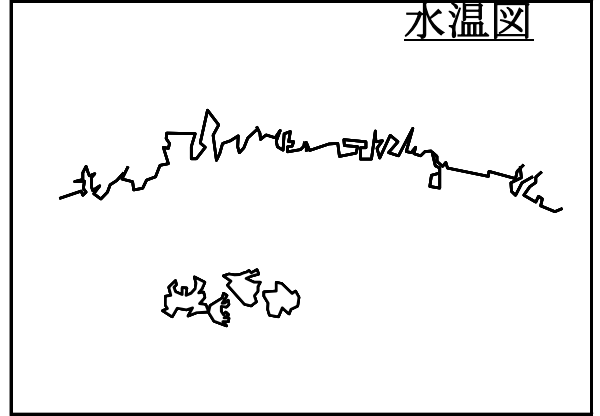
兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 5号)

2022年11月18日発行
 兵庫のみ研究所

西播地先東部（網干～伊保）において、小型珪藻のキートセロス等が依然確認されていますが、地先西部（赤穂～岩見）では、キートセロスの発生量は大きく減少していました。そのため窒素は、西播地先東部で1 $\mu\text{g-at/L}$ 前後、地先西部で3～5 $\mu\text{g-at/L}$ 台、沖合漁場で概ね4～5 $\mu\text{g-at/L}$ 台の値となっています。

(珪藻、栄養塩)

西播地先西部では、キートセロスの発生量は大きく減少しており、珪藻類はわずかに確認される程度であった。地先東部では、依然として小型珪藻のキートセロス、タラシオシラは確認されるが、発生量は減少傾向にある。沖合漁場では、キートセロス、レプトシリンダラスがごくわずかに確認される程度と、栄養塩を消費する珪藻類はほぼ見られない状況であった。室津漁場では、アンモニア態窒素の値が高くなっており、陸水等の影響が考えられる。



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	0.5	2.8	4.7	0.8
	リン	0.36	0.44	0.55	0.37
家島・坊勢	窒素	4.9	5.2	4.8	1.9
	リン	0.77	0.73	0.64	0.53

(11/7) (11/12)

栄養塩 (窒素) 図

2022年11月18日調査

